

ペットのおくりびと

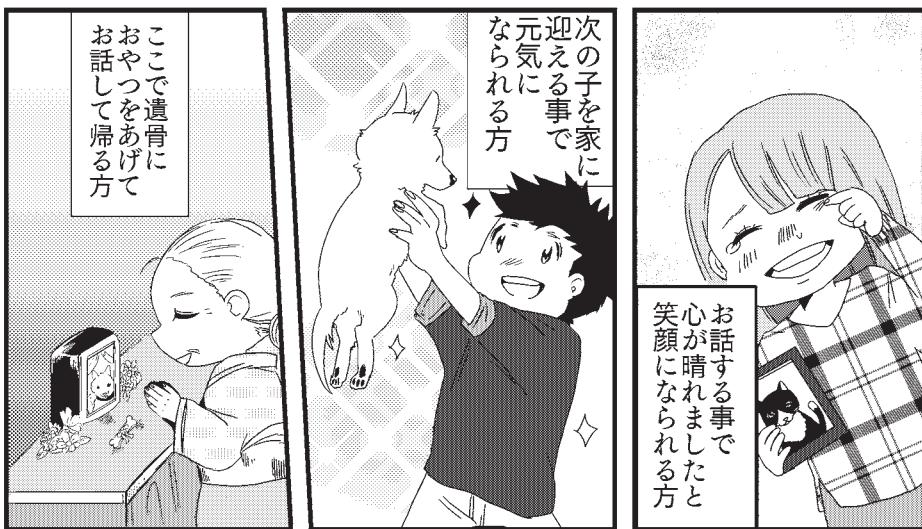
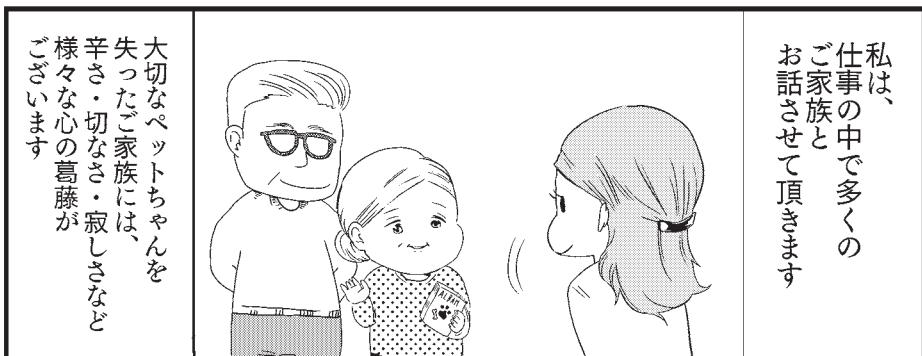
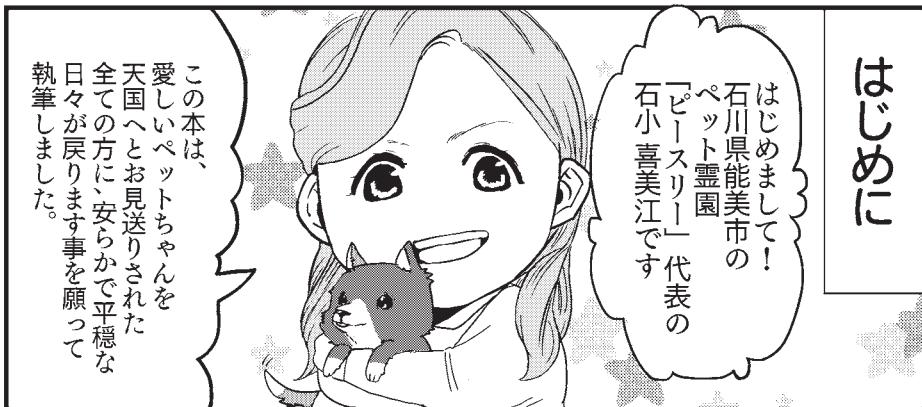
～ペットの葬儀社ピースリー物語～

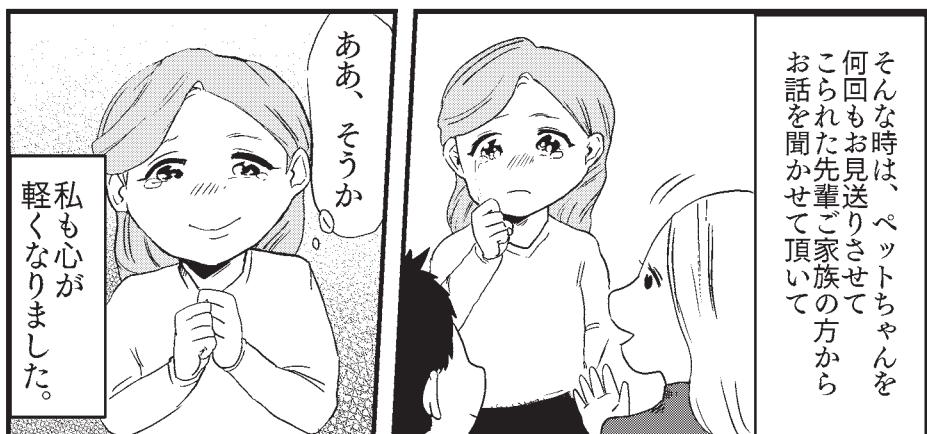


石小 喜美江
株式会社ピースリー

BoBoBooks

はじめに





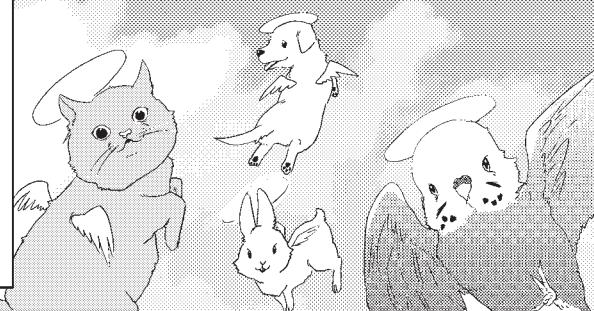
供養は心です

どんな形でも
ご家族のお気持ちの
済む供養でお見送り
できたら



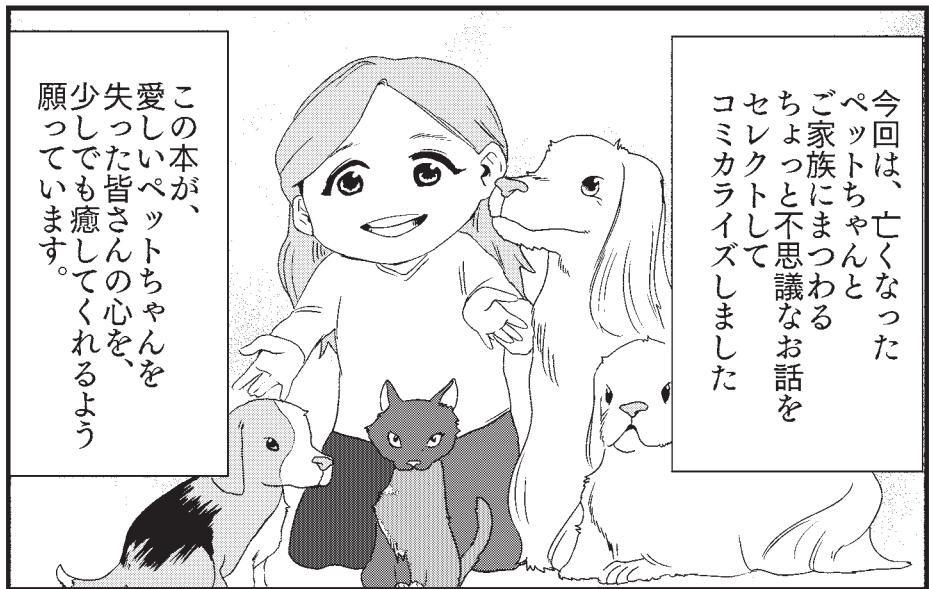
喜んで天国へ行き、
仲間たちと共に、

楽しく皆さんを
見守つて
くれるのでは
ないでしょか



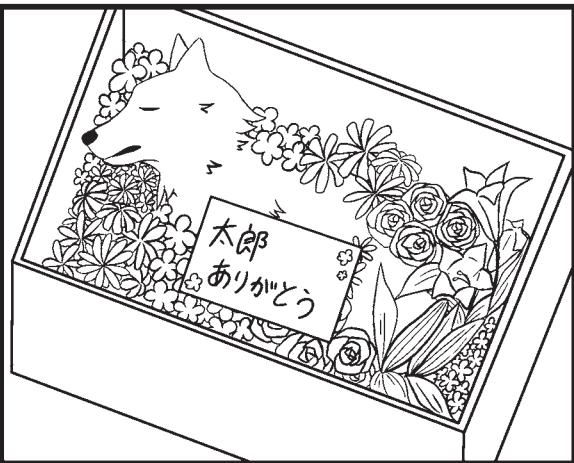
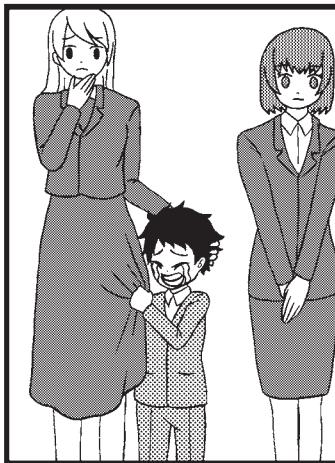
今回は、亡くなった
ペットちゃんと
ご家族にまつわる
ちょっと不思議なお話を
セレクトして
コミカライベリーズしました

この本が、愛しいペットちゃんを
失つた皆さんの心を、
少しでも癒してくれるよう
願っています。

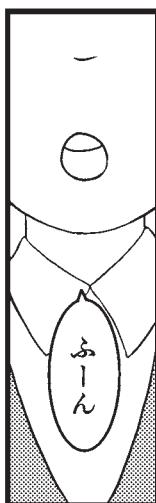


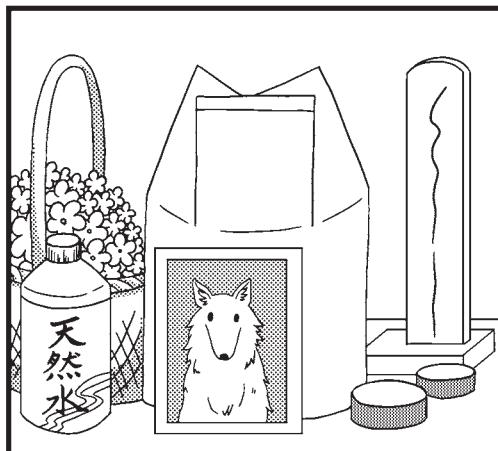
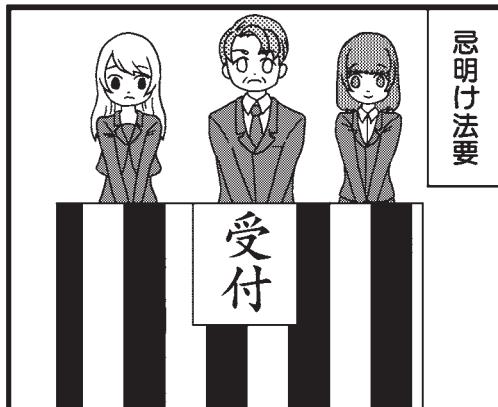
メソメソしてたら天国へ行けない





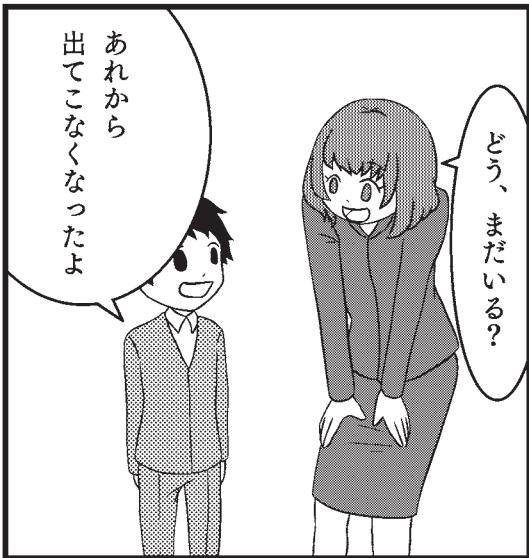
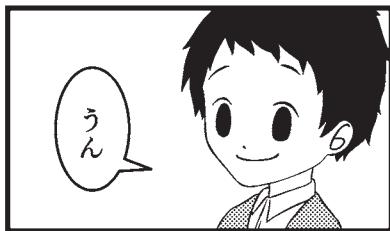
忌明けが近づいても





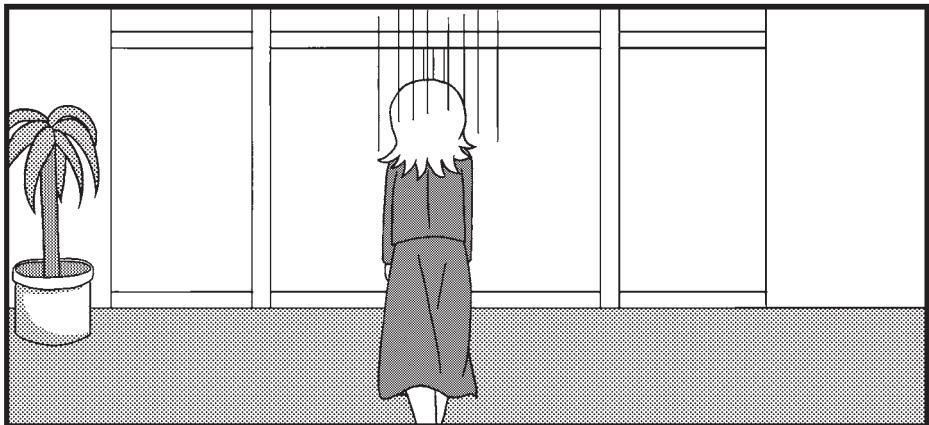
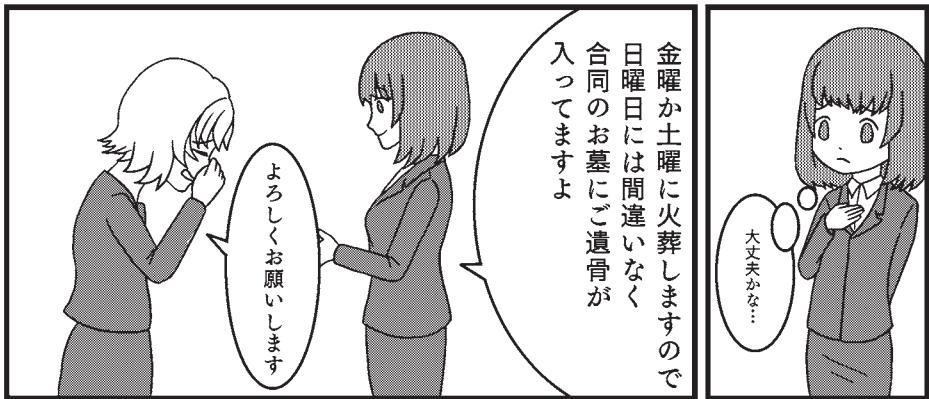


それは良かつた
ちゃんと天国へ
行けたんだね

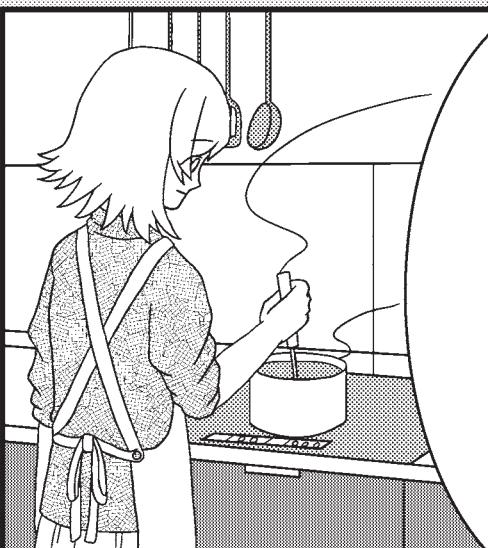
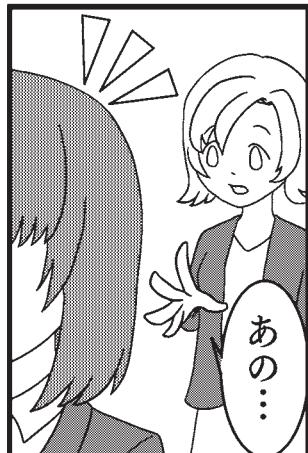
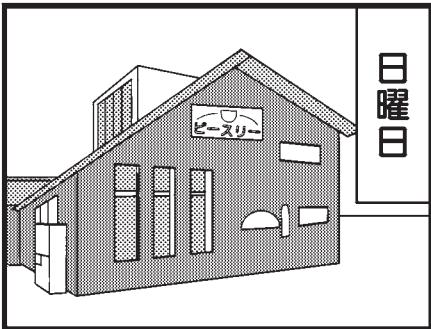
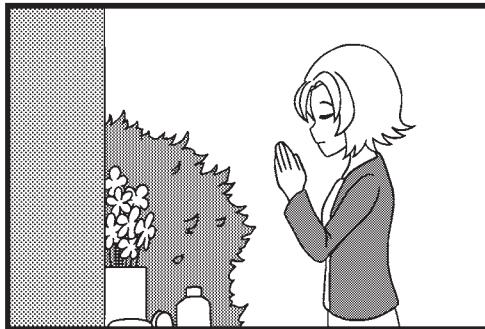


男の子は笑顔で
そう答えたそうです

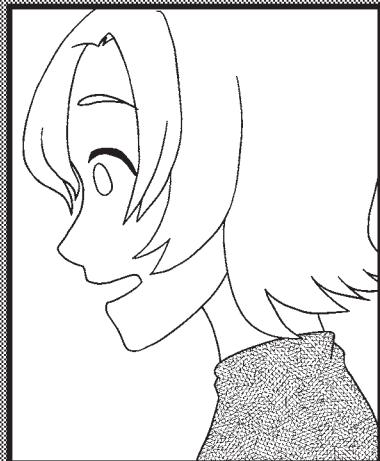
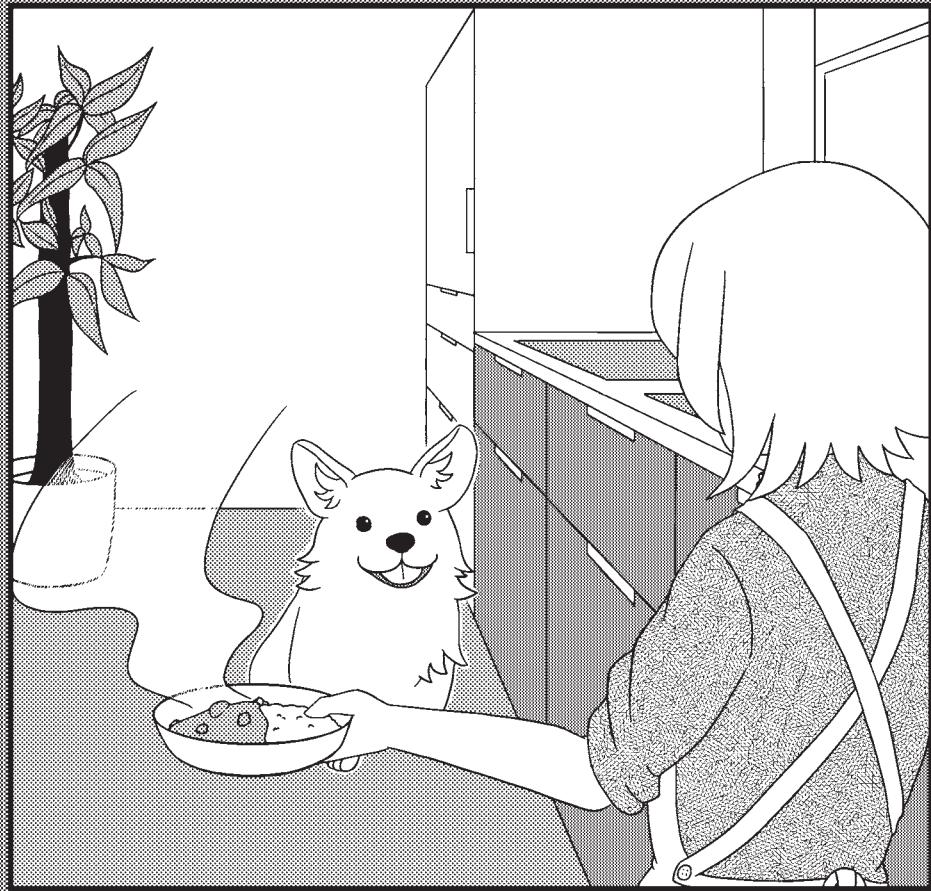
もう1例

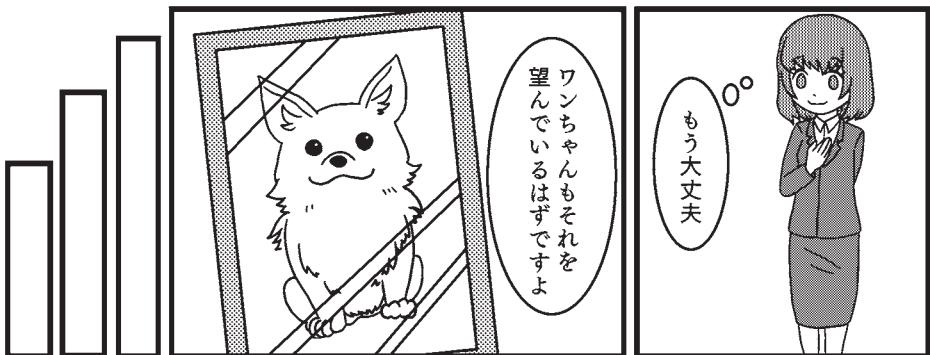
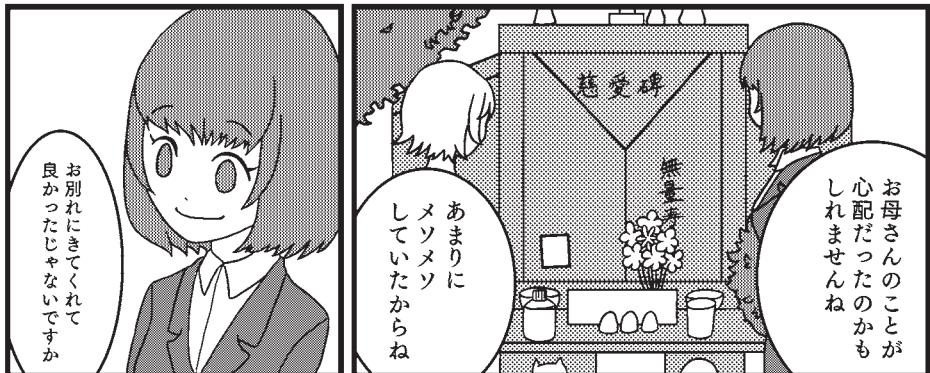


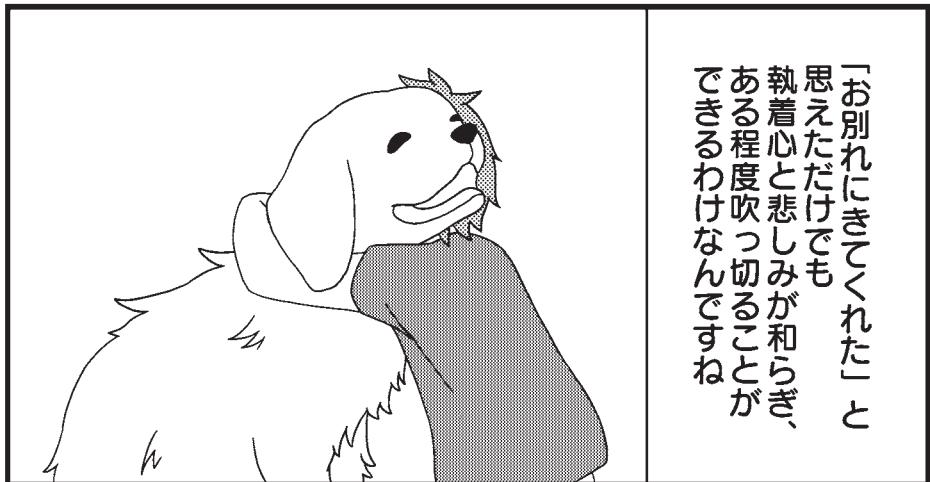
日曜日



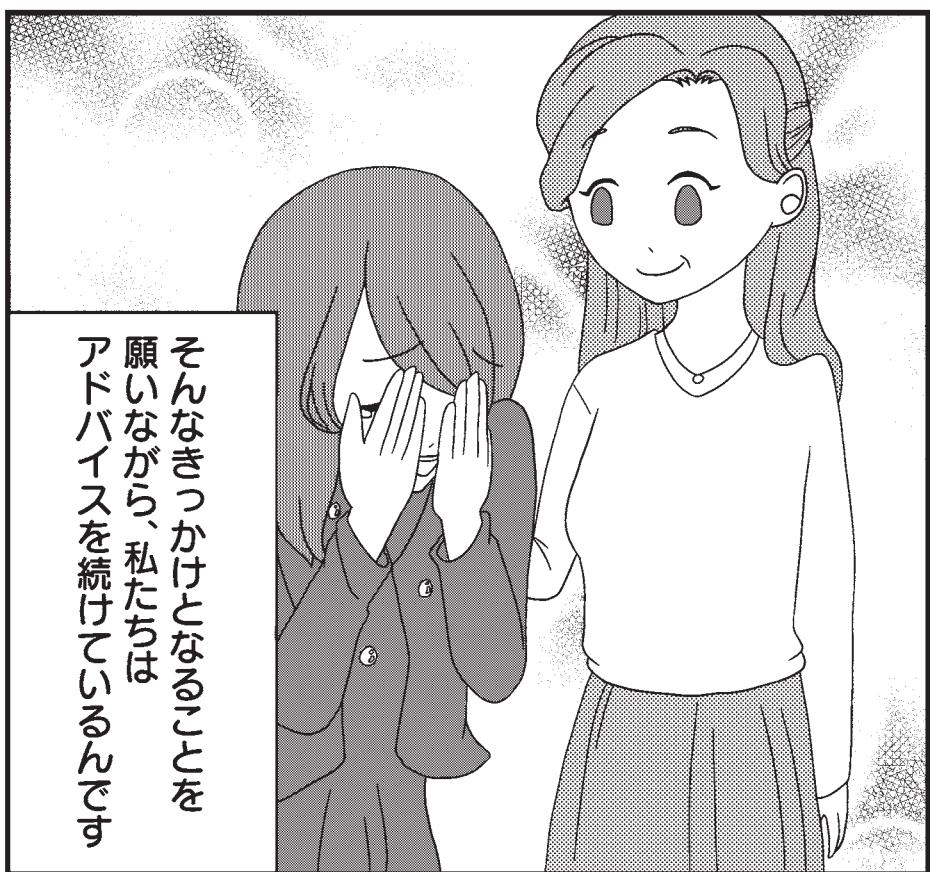
ちょうど金曜日に夕飯の支度を
していた時に現れたんです







「お別れにきててくれた」と
思えただけでも
執着心と悲しみが和らぎ、
ある程度吹っ切ることが
できるわけなんですね



そんなきつかかとなるいじを
願いながら、私たちは
アドバイスを続けていこうじゃ

必死にアピールした赤ちゃん猫

漫画：ナギサ

知らない人が聞いたら
バカにするとと思うけど

先代の猫のお参りに
来られた奥さんが

こんにちは
お久しぶりですね

不思議な縁で
生まれ変わりの
新しい猫と巡り合った
飼い主もいらっしゃいます

と、照れながら
打ち明けてくれました

お腹が
大きいのね

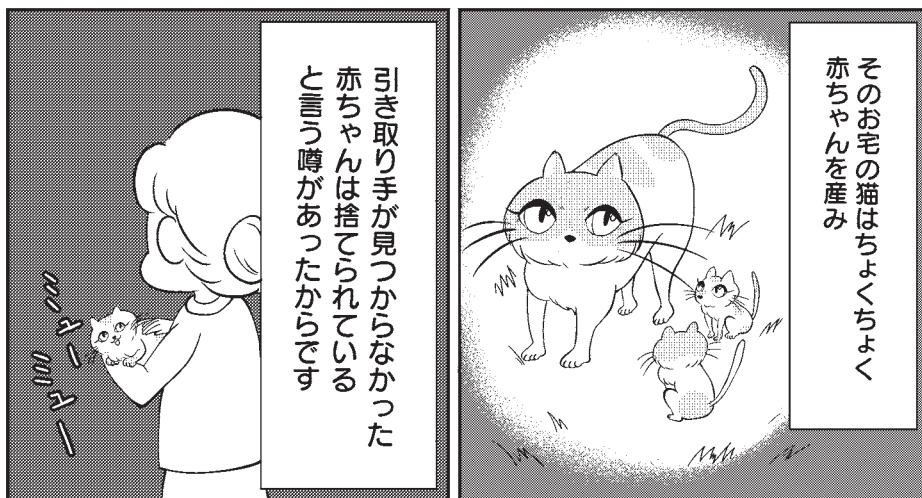
あら、
どうしたの？

数ヶ月前
家の畠でのこと

近所さんの飼い猫だわ



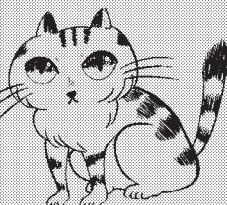
しじめいへたつた頃



飼っていたオス猫の
「ケンキチ」が亡くなつて
ちょうど一年余り

どうしようかしら

「それそろ新しい猫を」と
考へていた矢先でした



そんな時
夫が――

ちよつ

変なこと言わないでよ!
ちやんと天国に
行つてるんだから

おい、ケンキチが
きてるぞ

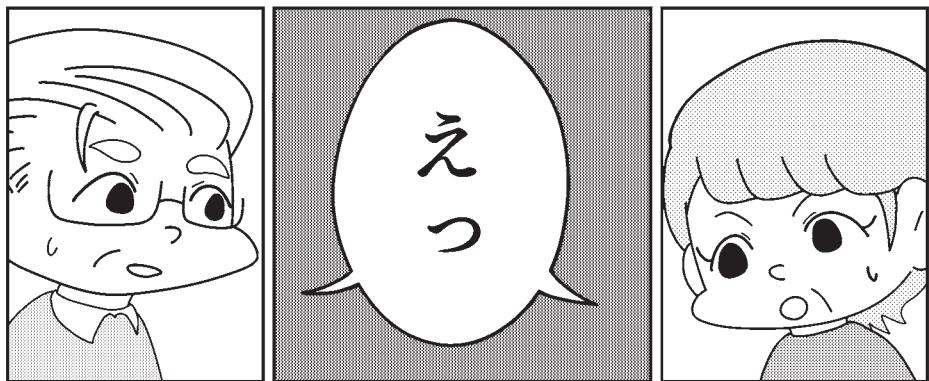


と口にした瞬間の
ことでした

やつぱり明日
見に行こうかな

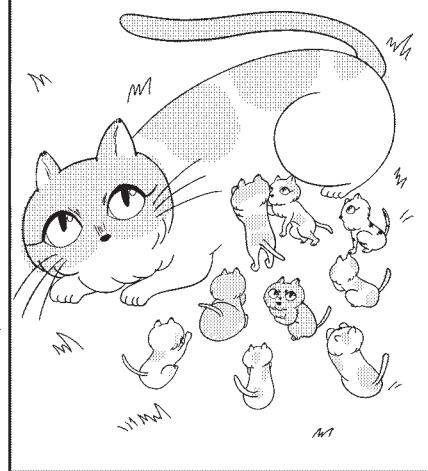
そ、そりだよな



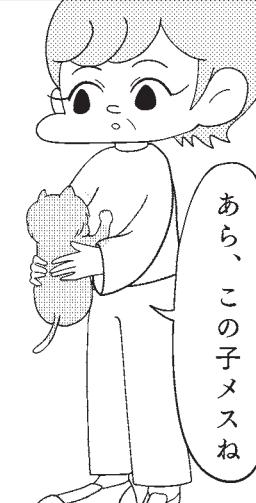


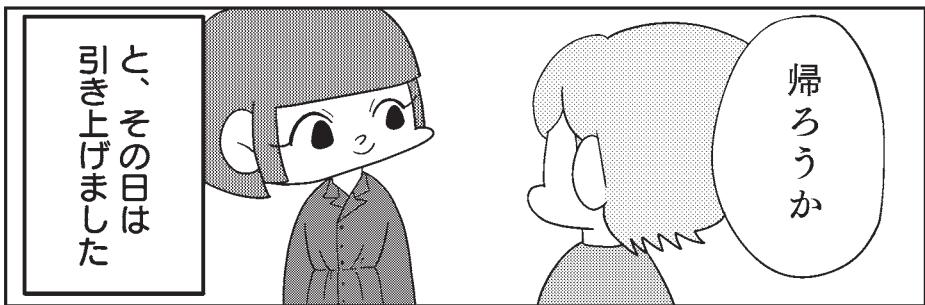
翌日
釈然としないまま
娘と赤ちゃん猫を見に行きました

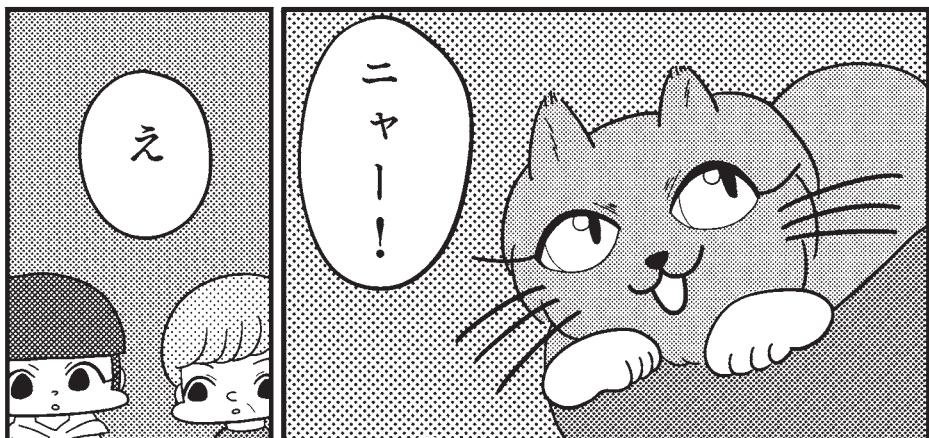
楽しみね！
そうねえ…

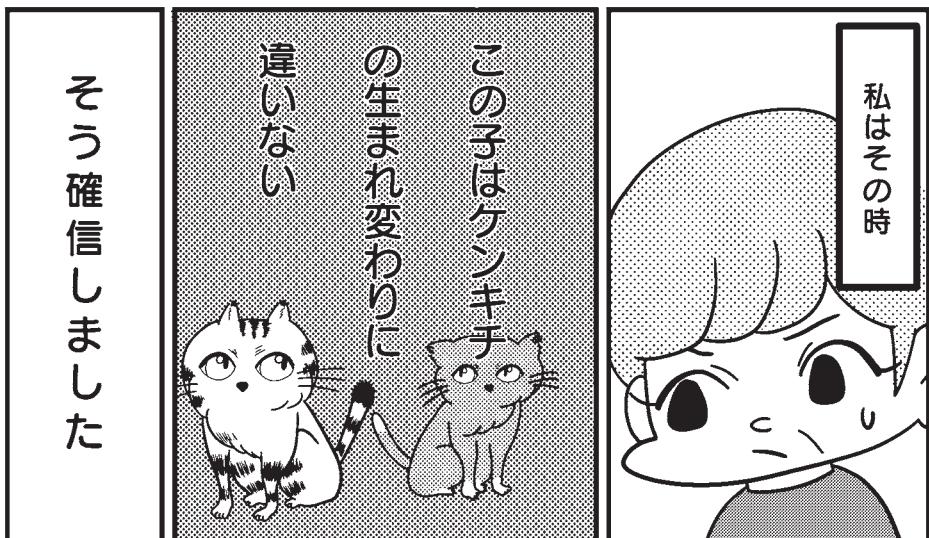
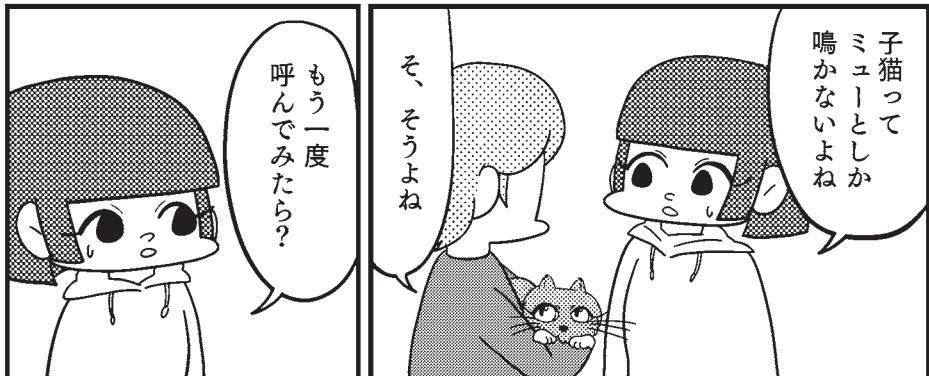


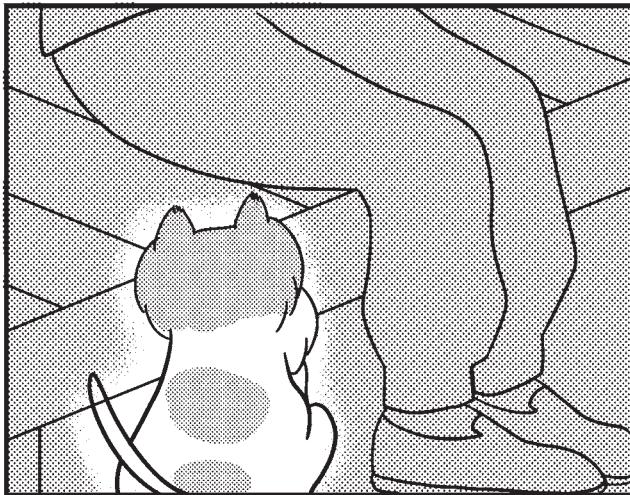
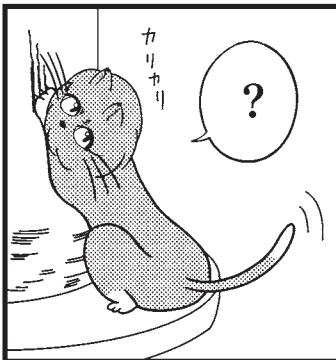
やつぱりオスが
いいわね



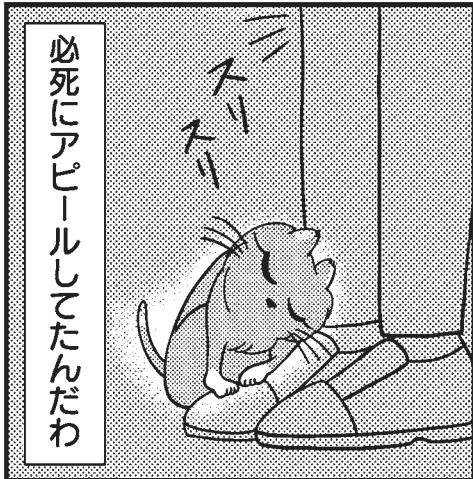


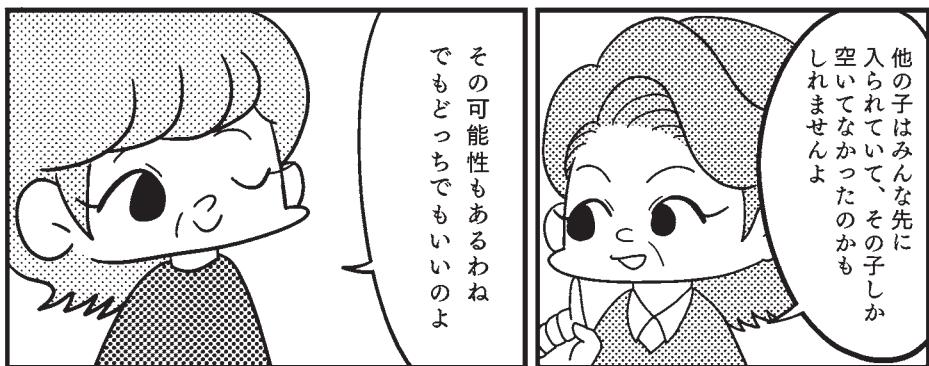
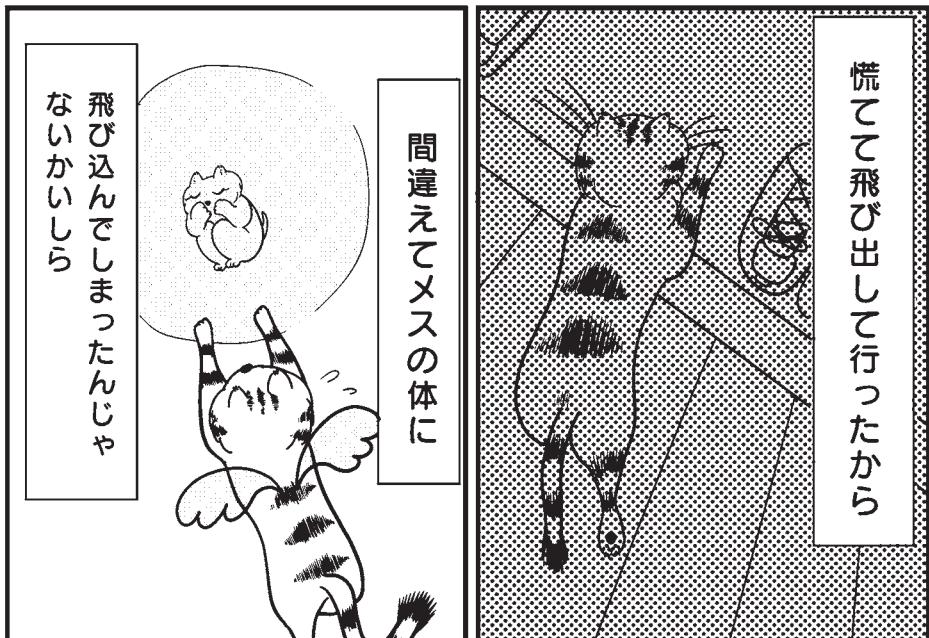


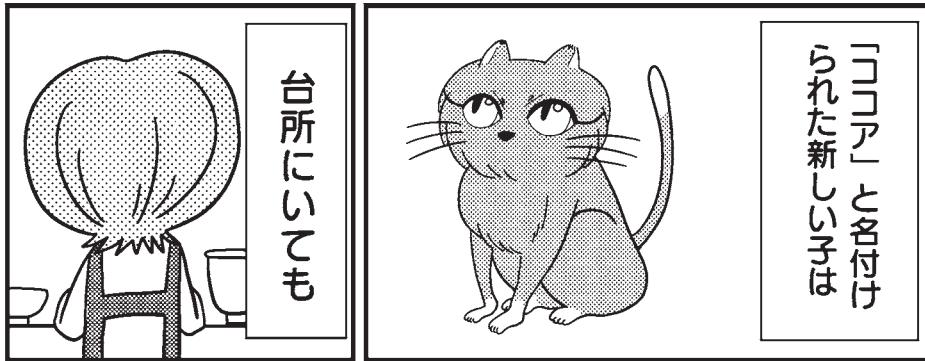
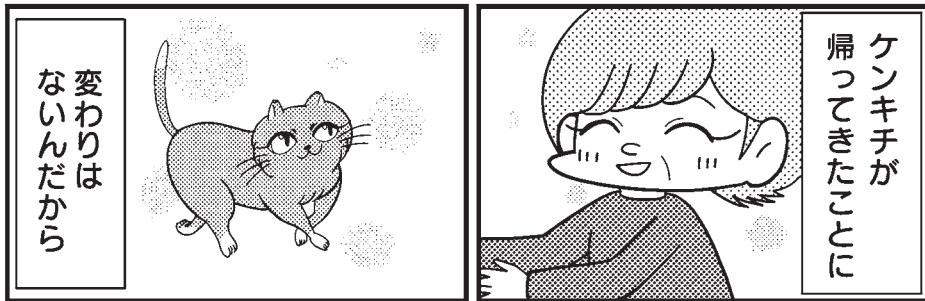




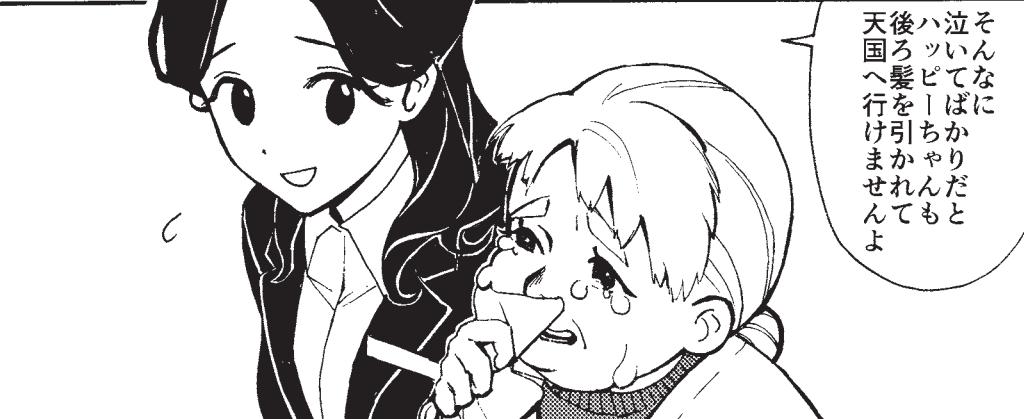
煙で母猫が寄ってきたのは
「餉つてくれないと描かれる」
とお腹の中のケンキチが
言ひにきたんだと思うの





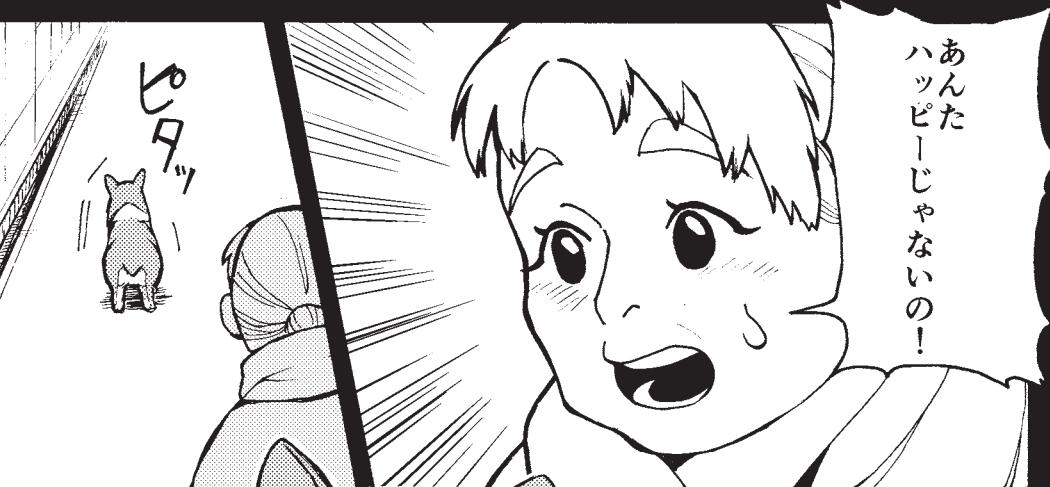


天国からの近況報告



その女性は
四十九日を前に
ふつつりと
お見えにならなく
なりました





こんなに心配してるのに
知らない顔だなんて
冷たいじゃがないの

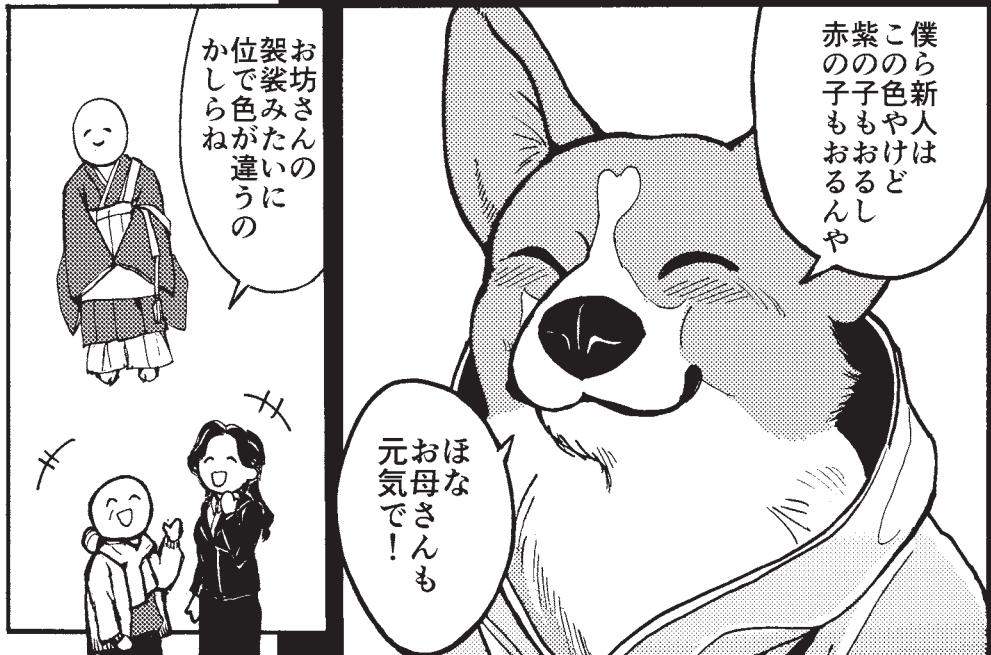
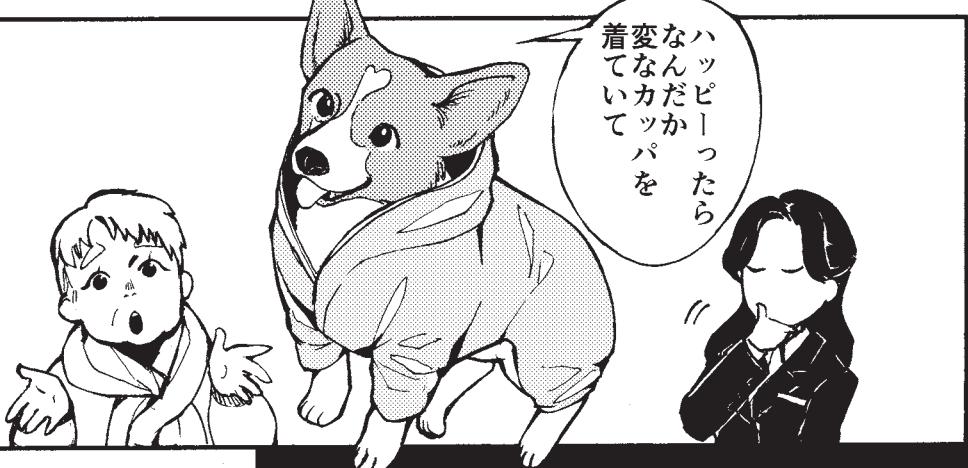
XII
お母さん
僕のことやつたら
心配せんでええよ

友達も
ぎょうさんいて
楽しく
暮らして
るから！

綺麗な場所で
毎日おいしいもん
食べて！



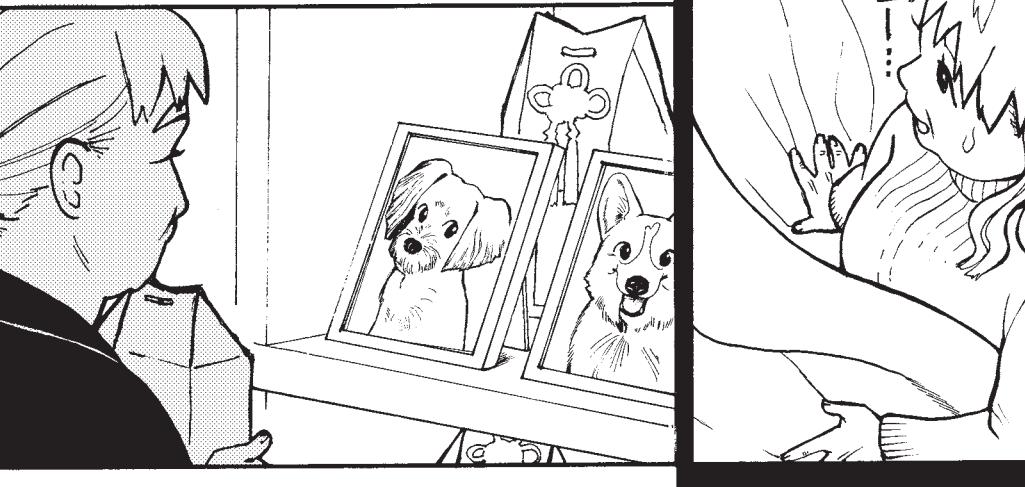






このお話には
後日談があります



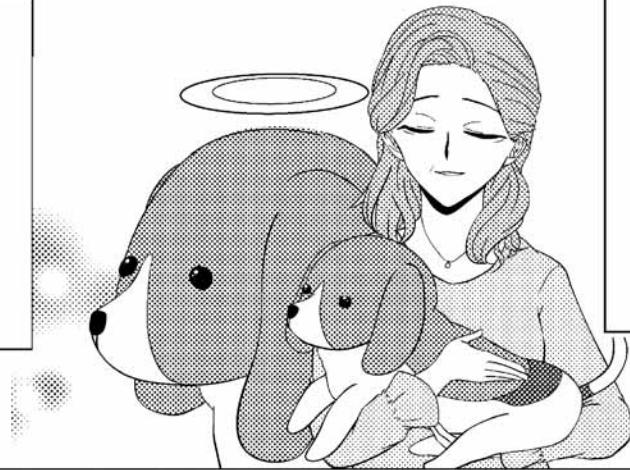




新盆に里帰りしたわが家の愛犬

15歳の時に老衰で
天国に召されました

私の愛犬だった「アベル」は
オスのビーグルで

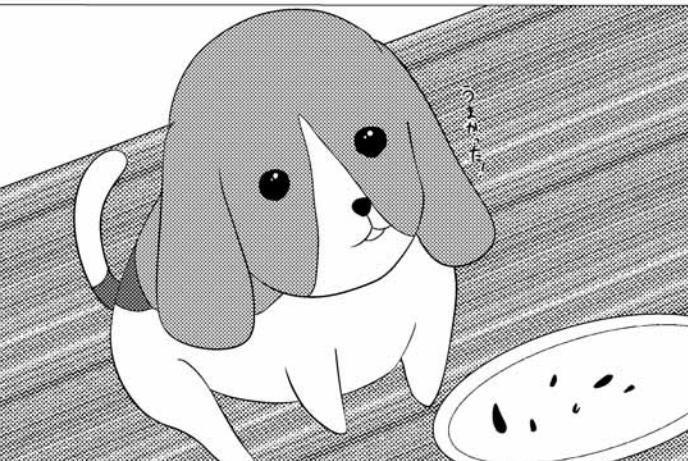


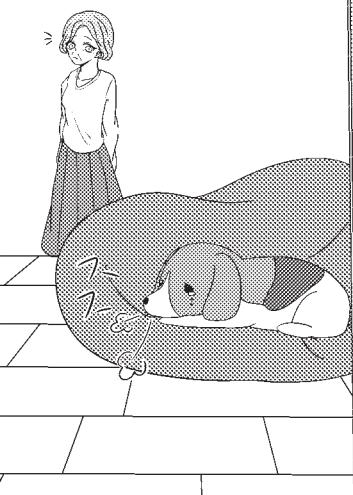
ワンパクで
食いしん坊

こどもたちが
小学生のころに
飼い始めたのですが



夕食用にテーブルに置いてあつた
家族全員のハンバーグを、もの
2、3分でペロリと平らげてしまい
夕飯のおかずがなくなつた
なんてこともあります

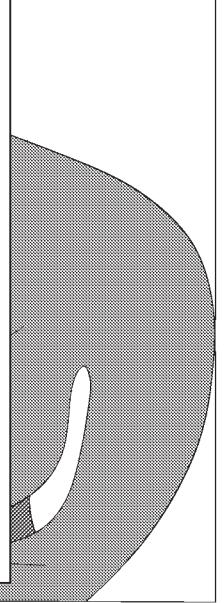




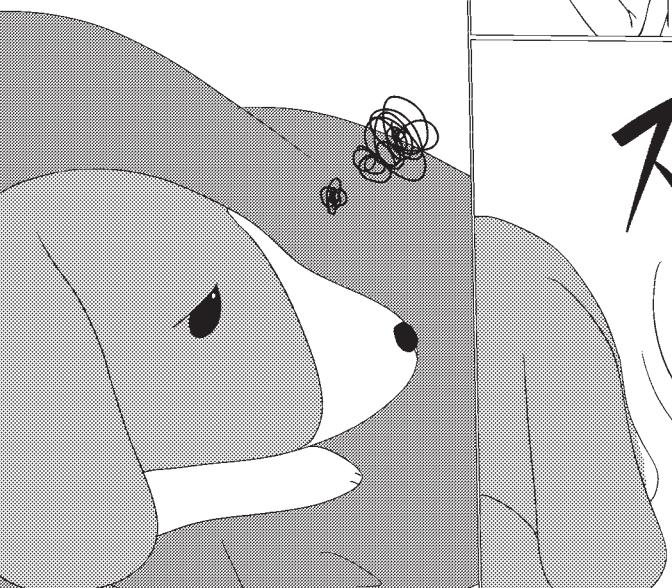
注射がむかつくらしく、
必ず帰り際に病院の玄関で
腹いせのようにおしつこを
してしまいます



どこが
痛かつたの？



本当は首に注射されたのに、
ここだとばかりに
手をトントンと
たたいてアピール



食事も受け付け
なくなりつて
しまいました

茶目つ氣たつぶり
だつたアベルも、
亡くなる直前には
歩けなくなり

ほとんど食べていないのに
とんでもなくウンチをして、
びっくりしたことを
覚えています

うわっ！

熱いタオルで全身を拭いて、
ブランシングをして
あげたりして
いたのですが、

(ほか)



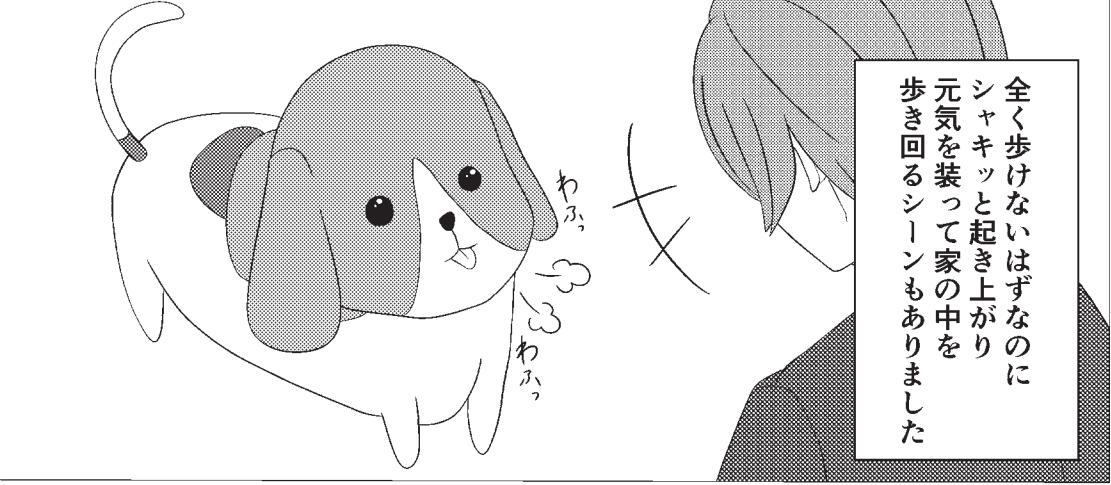
出張で留守にして
いた夫が一週間ぶりに
帰宅すると

ただいまー

ある日

クニー

全く歩けないはずなのに
シャキッと起き上がり
元気を装って家の中を
歩き回るシーンもありました



下の子によると
お盆の終わりの16日まで
自分の部屋にいたそうで

家族一同、
人間のご先祖様と同じように
お盆に里帰りしてくれたのだと
納得したのでした



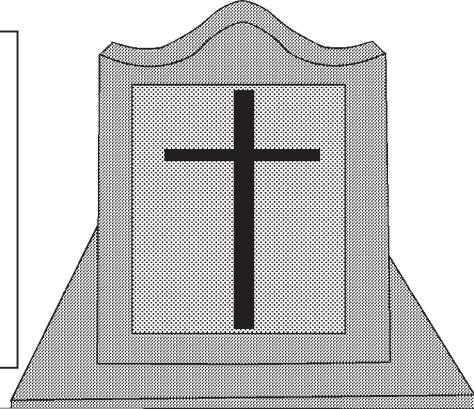
わが家では最も幼いころから
一緒にいた下の子が
アベルに選ばれたのか
かもしれません

その人だけには
姿を見せることがあると
聞いたことがあります

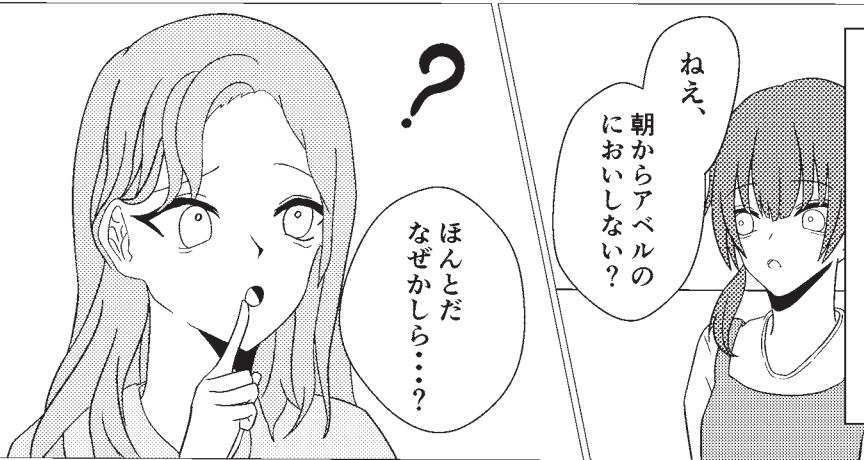
亡くなつたペットは
守つてあげる
家族一人を決め、



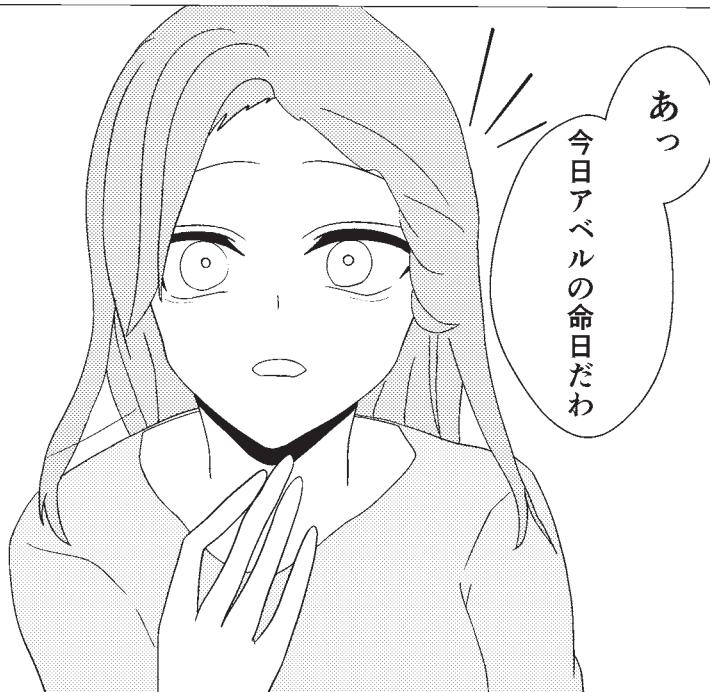
アベルの遺骨は
当園のお墓に
安置してあります



ある日、
仕事を手伝つて
くれている娘が

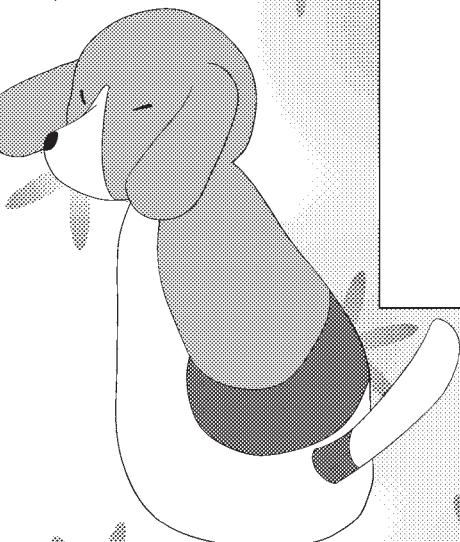


あつ
今日アベルの命日だわ



慌ててお参りしたら
においがすっかり消えました

ごめん…。



きっと
「忘れるんじゃない!」
と怒っていたのでしょう

当園に来られた
お客様も

あら?
なんか今日は

うちの子の
においがする

もしかしたら
うちの子が今…

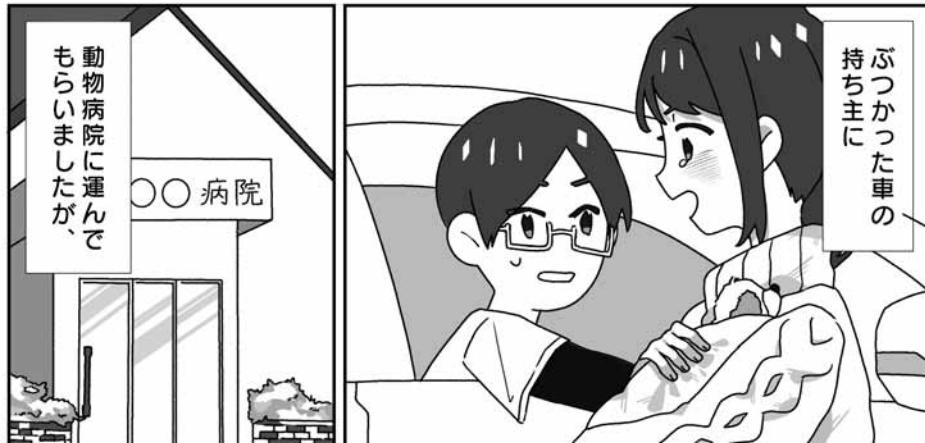
科学では説明のつかない現象ですが、
亡きペットたちは遺族を
天国から見守りながらメッセージを
送っているのだと思いたいですね

生まれ変わりと巡り合って









実は以前にも同じ
犬種を飼つていって、

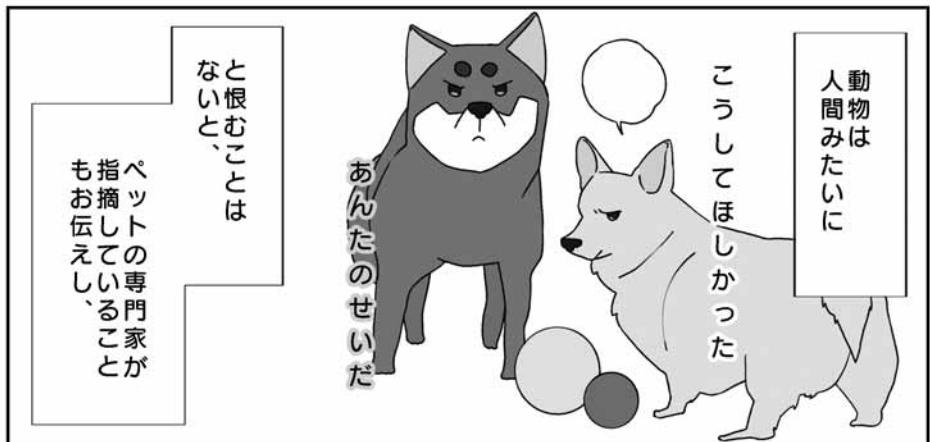
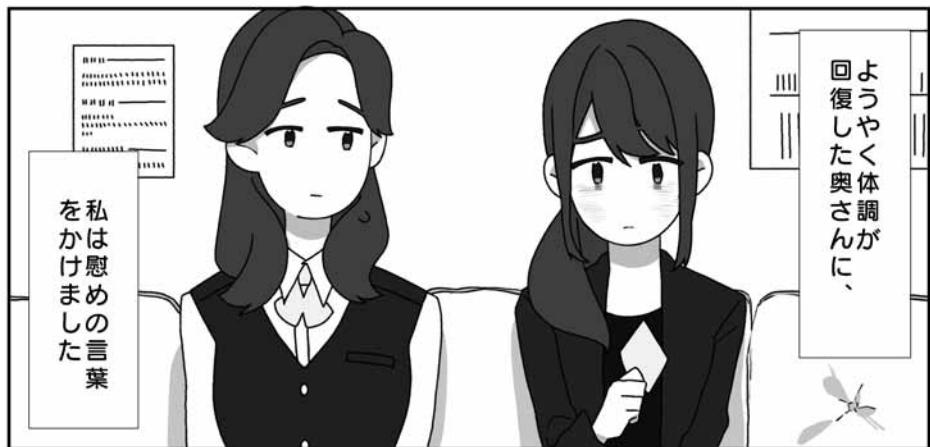
1歳になる前に病氣
で亡くなつていきました



奥さんにしてみれば、
2代続けて誕生日を
迎えさせてあげられず、

「私と一緒にいたら
長生きできないのかしら」

と、なおさり責任を
感じていたに違い
ありません







1ヶ月半ほどたち、

四十九日法要に
ご夫婦がお見えになりました。

お2人ともなんだか
ソワソワしています。

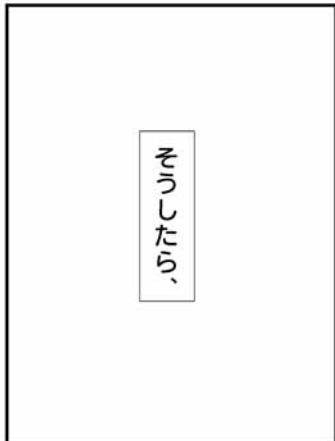
そ カ

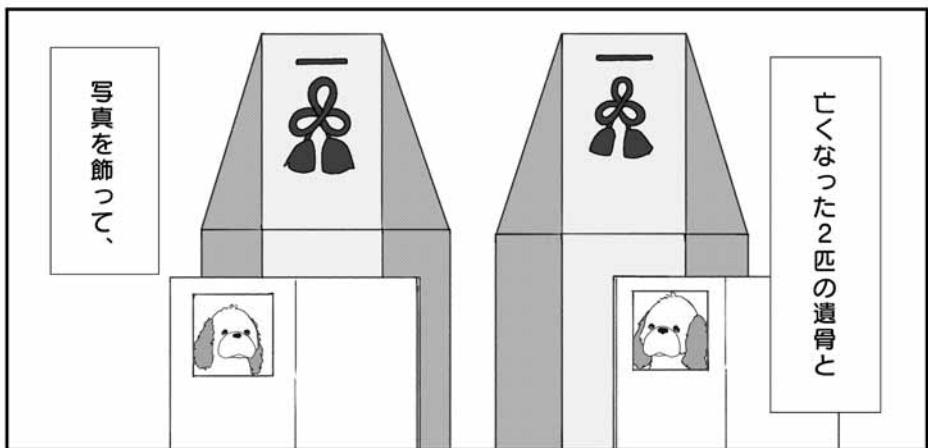
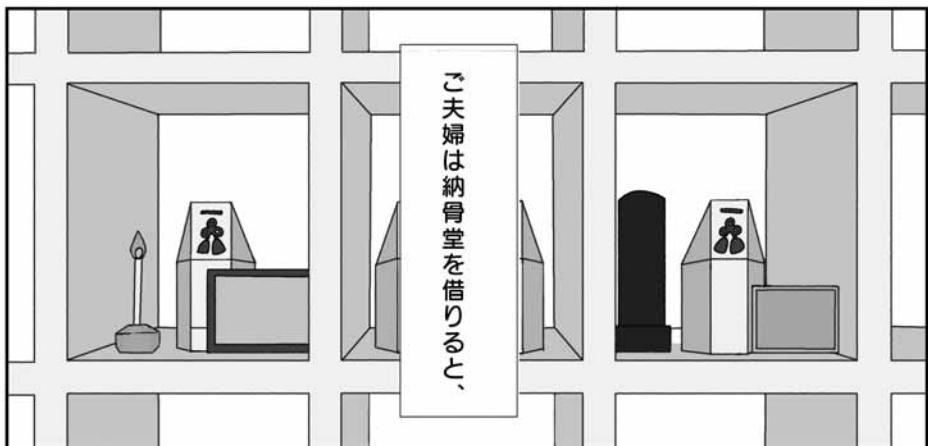
そ カ

そ カ

話を聞いてみると、
私が勧めたとおり、

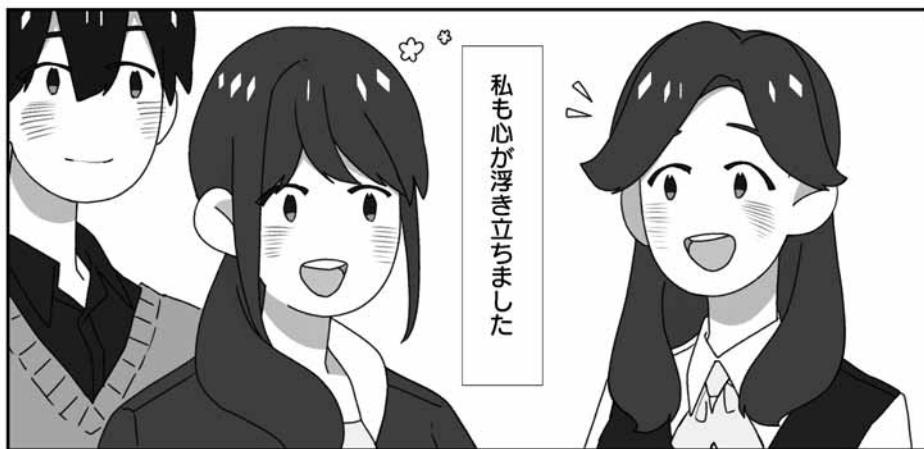
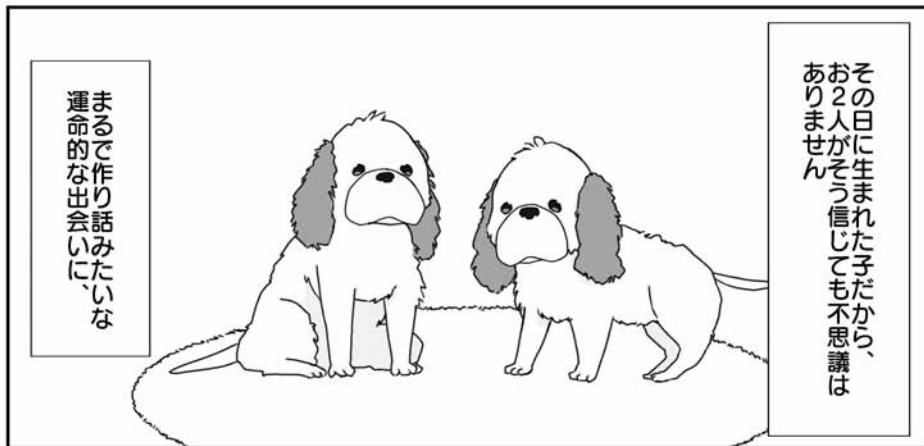
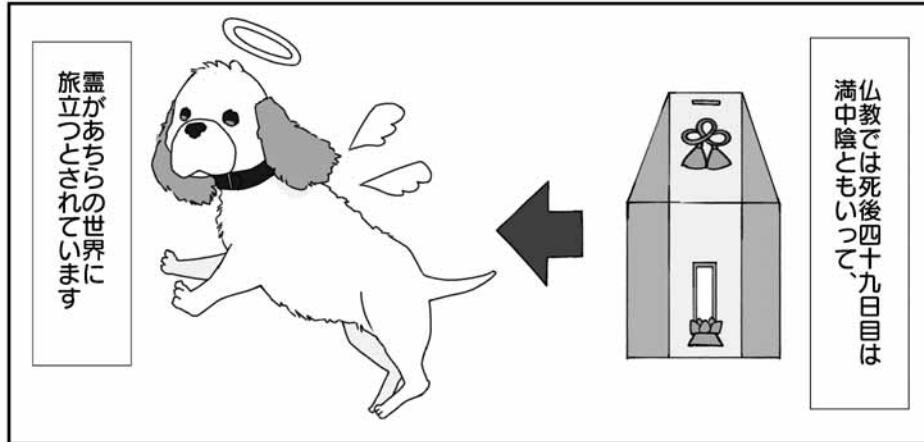














ペットのおくりびと
～ペット葬儀社ピースリー物語～

2019年11月22日 発行

石小喜美江

(株式会社ピースリー)

<https://p3pet.jp/>

〒923-1224 石川県能美市和氣町才14-4

TEL : 0761-51-0035

FAX : 0761-51-6344

【協力】(マンガ・表紙・イラスト)

学校法人大原学園福井校マンガ系コース

【発行社】

DoCompany出版(ボボブックス) BoBoBooks

〒107-0062東京都港区南青山2-2-15ウイン青山14階

TEL 050-3692-4434 FAX 03-6369-4449

〒910-0063福井県福井市灯明寺1丁目1301

TEL 0776-28-5233 FAX 0776-28-5234

<https://bobobooks.com>

ペットのおりびと

～ペットの葬儀社ピースリー物語～

ペットの葬儀社「ピースリー」には
日々さまざまなお客さまがやってきます。
愛しいペットを失った悲しみの中で起った、
優しくて、ちょっと不思議なエピソード 5編を
漫画にしてご紹介します。



BoBoBooks

電子書籍出版 DoCompany 出版社